

式 辞

(令和3年度 神奈川県立 瀬谷西高等学校 第42回卒業式)

○ただいま、326名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。まずは、卒業生の皆さんに心からお祝いを申し上げたいと思います。「皆さん、ご卒業おめでとうございます。」

そして、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。さまざまな困難を乗り越えて、立派に成長された姿を皆様とともに喜びたいと思います。昨年度に続きコロナ禍での卒業式ということで、残念ながら来賓の臨席をお断りいたしました。保護者の方々に出席いただき、大変うれしく思っております。

○「子どもの発達と保育」の授業を受けた皆さんは習ったかもしれませんが、「生理的早産」という言葉を聞いたことがありますか。スイスの生物学者のアドルフ・ポルトマンが、人間は、他の哺乳類動物より、1年早い「生理的早産」であると言っています。馬や鹿が出産後すぐに立ち上がり、歩けるようになることを知っていますね。これに比べてヒトの赤ちゃんは、歩けるようになるのに1年間近くかかります。ヒトは四つ足から二足歩行になり、骨盤が小さくなりました。一方ヒトは生物の中で最も進化した種族で、赤ちゃんは頭でっかちです。北里大学の島田信宏名誉教授によると、頭部が脳の発達のために産道を通過できるぎりぎりの大きさまで発育してから生まれてくるため、ヒトの出産は全生物の中で最も難産だとおっしゃっています。

○皆さんは誕生日に親から祝福されると思います。でも見方を変えれば、出産という生涯で最も大変なご苦労されたお母さんにとっての記念日と言えませんか。ヒトは親や周りの大人たちが育ててこなければ絶対に生きることができないのです。自分の力だけでここまで来たということはありません。本日の卒業式は、保護者の方々にとって、子育てという18年間にも及ぶ偉大な仕事の一つのゴールと言えるのではないのでしょうか。生徒の皆さんは家に帰っ

たら照れ臭いかもかもしれませんが、心からの感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

○さて、「人生100年時代」という言葉を聞いたことがありますか。ロンドン・ビジネス・スクール教授のリンダ・グラットン、アンドリュー・スコットの二人が、「ライフ・シフト 100年時代の人生戦略」の中で提唱した言葉です。日本では本の発売と同時期に政治家の小泉進次郎さんが使用したことで広く浸透したそうです。寿命の長期化によって先進国の2007年生まれの二人に一人が103歳まで生きる人生100年時代が到来すると論じたものです。仮に皆さんが100歳まで生きるとしたら、あと82年間あるわけです。皆さんはどんな人生を歩いていきたいですか。大学や専門学校に進学した皆さんもその後就職をしたいと思います。でもやりたい仕事が見つからない、または就職したが思っていた仕事と違い、やめてしまったという卒業生の話聞くことがあります。東京大学の女性学のパイオニアである上野千鶴子名誉教授が、「夢中になれる仕事を見つけるのにどうしたらよいですか」という10代の女性の質問に答えています。上野教授は、「いきなり水をかけるようですが、夢中になれる仕事を求めるなんて、幻想です。仕事になるとは、つまり、カネを稼げるということ。他人様からお金をいただけるだけの何かを生み出して初めて仕事になります。仕事は、夢中になるためにするものではありません。」と答えています。そう考えれば、瀬谷西での三年間は、仕事になるための何かを生み出す準備期間であり、大学や専門学校もその助走期間が長くなっただけと考えることができます。親から自立して暮らし始めて、初めて大人のスタートラインに立ったと言えるかもしれません。

○昨年皆さんはSDGsについて、取り組んだと思います。マイクロプラスチックの問題や地球温暖化に伴う様々な気候変動や自然災害が発生しています。これらの課題は人生100年時代の皆さんが自分事として解決しなければならないものだと思います。科学技術の進展で防げる課題もありますが、自分たちが日常の生活を改善することで解決できる課題も多いと思います。本校の目標でもあるのですが、是非生涯を通じて「持続可能な社会の担い手」に

なっしてほしいと思います。

○本校は来年3月に完校し、瀬谷高校と再編統合します。それ以降は、必要書類等は新校に取りに行くこととなります。完校記念誌にも書きましたが、本校は、瀬谷区に二つ目の県立高校をつくってほしいという住民による運動もあり、1978年に弘明寺にあった県立商工高校の旧校舎を仮校舎にスタートしました。そして1980年にこの中屋敷の地に本校舎が完成して移転してきました。米軍の上瀬谷通信隊に隣接し、電波障害防止ゾーン内にあるため、本校の設計者は、校舎敷地を下段、グラウンドを上段に配置し、さらにその間に林を自然のままに残しました。この林が「思索の森」であり、今でも絶滅危惧種に指定される「キンラン」がひっそりと咲いています。当時のままの自然が残っているのです。本校の歴史そのものの森が、今後も瀬谷西の卒業生を見守り続けてくれることを願います。

○思索の森清掃をはじめとする学校行事など、保護者の皆様のご協力ご支援に、この場をお借りして感謝申し上げます。改めまして、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。生徒ひとり一人が、立派に成長されたことを我々職員一同、心からお祝いいたします。最後に生徒の皆さん卒業おめでとうございます、そして、瀬谷西での経験をばねにして、前を向いて、幸多き素晴らしい人生を歩んでください。

令和4年3月1日 神奈川県立 瀬谷西高等学校

校長 小林 幸宏